

研究課題名	矯正歯科治療中に生じる感染性医原性障害に対する新規予防プログラムの確立
研究期間	2022年01月04日～2028年3月31日
研究の対象	本研究(E2021-2761(E-2761))について既に同意済の研究対象者の皆様
研究の目的・方法	<p>研究目的：矯正歯科治療では、治療中にむし歯が発生することがあります。これを予防することは非常に重要ですが、完全な予防方法は確立されていません。患者毎にむし歯へのなりやすさを予測し、個別的な予防方法を確立することで、矯正歯科治療中に発生するむし歯を根絶することが目的です。</p> <p>研究の方法：本研究は、通常診療では廃棄する患者さんの唾液とプラークの細菌DNA解析検査・診療録情報を調査して行います。詳細については同意取得時にお渡しした説明文書にてご確認ください。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>情報：生年月・性別・口腔清掃状態・う蝕の発生状況・X線写真等</p> <p>試料：唾液、プラーク</p>
外部への試料・情報の提供	本学のみで実施する研究のため外部への試料・情報の提供は行いません。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日(2022年1月4日)以降
個人情報の保護	試料・情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものかわからないようにします。個人と連結させるための対応表は、本院の研究責任者が保管・管理します。
研究組織	<p>本学の研究責任者</p> <p>広島大学大学院医系科学研究科矯正歯科学科 教授 谷本 幸太郎</p>
その他	<p>※本研究について、既に同意いただいた研究対象者の皆様へ同意いただいた後、計画が一部変更されました。研究内容の大きな変更ではございませんが、変更した内容について情報を公開します。</p> <p>【変更内容】選定期間の延長、研究期間の延長、新たな評価方法の追加 今後も研究に変更が生じた場合現在ご覧いただいているHPにて変更した情報を公開しますのでご確認ください。</p>
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象といたしませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表

されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5703

広島大学病院矯正歯科 職名 准教授 國松 亮